

2008 年度

科目名	対象学科・学年 教育福祉学部 教育福祉学科 3回生 (前期)	担当者 たけもと ふ ゆ の しん 竹本封由之進	
図 工 科 教 育 法			
授業テーマ 小学校における図画工作科の教育法を修得する			
授業の概要と目標 「子どもの造形」がもつ特性を、発達の過程や表現などを通して明らかにし、造形することの意義や図画工作科の本質、教育の目標を考察する。さらに、図画工作科授業指導案の作成演習や実技実習を通して、子どもの造形表現に必要な基礎的・基本的なことがらについて、その取り扱いを修得する。また、図画工作科授業を通して一人一人の子どもの表現能力を高め、その育ちをどのように伸長させるのか、学習方法について研究を進める。			
評価方法 ・出席状況 ・活動の様子 ・提出作品 ・自己評価 ・期末テストなどによって総合的に評価する。			
テキスト 担当者作成の学習資料を適宜提供する。	著者	出版社	
参考書 小学校学習指導要領図画工作科編 「造形表現・図画工作科・美術科」教育ハンドブック	著者 文部省 大阪児童美術研究会	出版社 日本文教出版(株) 教育タイムス社	
授業スケジュール・内容			
回	講 義	演 習 の 内 容	備 考 (配布予定資料)
1 回	◆「図画工作科教育法」研究の意義 I. 教育の課題と教育の流れ	「絵に表す」	指導要領の時数表
2 回	◆図画工作科造形技法のいろいろ ・造形技法にある基本的な事柄	「材料をもとにした活動」	図画工作科教育の基礎知識
3 回	◆図画工作科授業の計画 ・指導内容・計画について	指導計画立案	題材一覧表、授業計画表
4 回	◆図画工作科授業の計画 ・指導案について	指導計画作成	指導案例、指導案記入用紙
5 回	◆図画工作科授業の展開 ・指導案の検討	指導案作成	
6 回	◆図画工作科授業の実際 ・授業演習、研究討議	仮想授業	相互評価カード
7 回	◆学習指導要領と図画工作科教育 ・図画工作科教育の本質と目標	「鑑賞ゲーム」	
8 回 ～ 11 回	《教育実習期間》	* 実際に図工科の指導を行う (後日指導案、反省記録提出)	
12 回	◆「美術教育」の歩み ・明治以降の「美術教育」	臨画・野画	わが国の美術教育の流れ
13 回	◆「美術教育」の歩み ・創造主義の美術教育	自由画ときっかけ題材	創造主義の教育思潮
14 回	◆これからの教科教育 ・学力観、教育理念	実践交流	
15 回	◆子どもと造形生活 ・成長発達、「遊び」と造形 ◆全体のまとめ ・図画工作科教育法で学んだことをまとめる ◆期末テスト	指導事例研究	
* 毎回、講義ノート (別途配布) に講義記録や考察を記入し、自己評価をしておくこと。(最終講義の時間に提出) * 教育実習中に図画工作科の授業を受け持ち、その指導案・反省記録を提出すること。 * 前期中に小学校へ実習に行く学生は、必ず前期に受講すること！ (後期は別の教員による講義です。)			